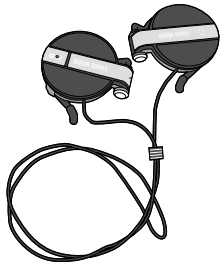


# SANWA SUPPLY ブルートゥースステレオヘッドセット 取扱説明書



最初に  
ご確認ください

- SCMS-T対応**
- MM-BTSH2N**
- 本体 ..... 1個
  - 充電用ACアダプタ ..... 1個
  - 充電用USBケーブル ..... 1本
  - ポーチ ..... 1個
  - 取扱説明書(本書) ..... 1部
  - 保証書 ..... 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社サイト( <http://www.sanwa.co.jp/> )をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本圖に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 特長

Bluetooth対応のパソコンやBluetooth USBアダプタ(当社製MM-BTUD5)と組み合わせると、SkypeなどのIP電話や音声チャット、または高音質の音楽をワイヤレスで楽しめます。Bluetoothオーディオアダプタ(当社製MM-BTAD4)と組み合わせると、オーディオ機器やパソコンの高音質で楽しめます。

Bluetooth対応の携帯電話と組み合わせると、音楽やハンズフリー通話を楽しめます。SCMS-T方式で保護された音楽やワングの音声にも対応しています。

連続使用時間:通話時/約14時間・スタンバイ時/最大約300時間。  
充電用にACアダプタだけでなく、USBケーブルも付属しています。  
コンパクトサイズで携帯にも便利です。

## 安全にご使用いただくために

自転車やバイク、自動車などの運転中に絶対に使用しないでください。交通事故の原因になります。運転以外にも、踏切や駅のホーム、道路、工事現場など周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

歩行中に使用する場合は、周囲の交通に十分注意してください。交通事故の原因になります。使用する前に入音量を最小にしてください。突然大きな音がすると、聴力を損なうおそれがあります。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くこと、聴力に悪影響を与えることがあります。耳を守るため、音量を上げすぎないようにご注意ください。

内部に燃えやすいものや水などの液体がかかった場合は、使用を中止し、お買い上げいただいた販売店または弊社にご相談ください。そのままご使用になりますと、火災や故障および感電事故の原因になります。

内部を開けずとも、故障や感電事故の原因になります。内部に触れることは絶対におやめください。また、内部を改造した場合の性能劣化については保証いたしません。

濡れた手で本製品を扱わないでください。感電の原因になります。

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。小さいお子様には使用させないでください。

## ご注意

本製品を使用したことによって生じた動作障害やデータ損失などの損害については、弊社は一切の責任を負いかねます。

本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。本製品は一般的な職場やご家庭での使用を目的としています。本書に記載されている以外のご使用に生じた損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。

医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下で使用しないでください。

高い安全性や信頼性が要求される機器や電算機システムなどと直接的または間接的に関わるシステムでは使用しないでください。

飛行機の通信システムを妨害する恐れがありますので、飛行機で本製品を使用しないでください。ペースメーカーなどの医療機器を使用している方は、医師に相談の上で使用してください。必要以上に長時間の充電はしないでください。

電池(内蔵リチウムイオンバッテリー)は使用状況によって異なりますが、約300~400回繰り返し充電できます。電池(内蔵リチウムイオンバッテリー)は消耗品ですので、保証の対象にはなりません。十分に充電しても使用時間が著しく短くなってきたり、使用できない場合は電池の寿命ですので、新しい製品をお買い求め下さい。(電池交換はできません)

使用しないときは、本製品の電源を切っておくことをお勧めします。本製品は、他のBluetooth機器からの接続要求に応答するため、常に電力を消費しています。本製品を使用中に発生したデータの消失、機器の故障などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

**Bluetoothについて**

本製品の使用周波数帯では、産業・科学・医療用機器等のほか、工場での製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運営されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事象が発生した場合には、使用場所を変えるか、速やかに電波の発射を停止してください。

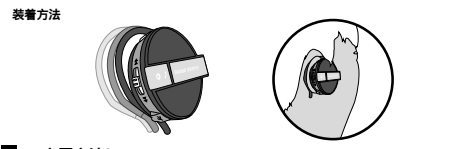
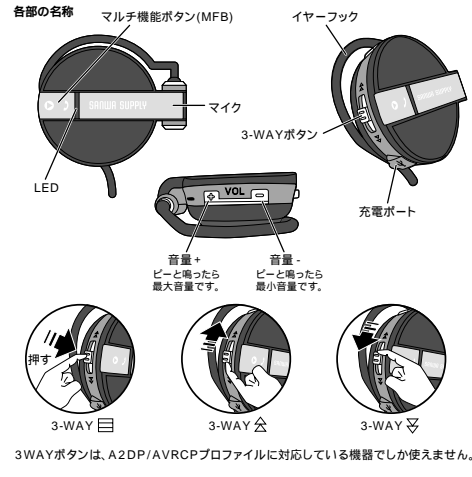
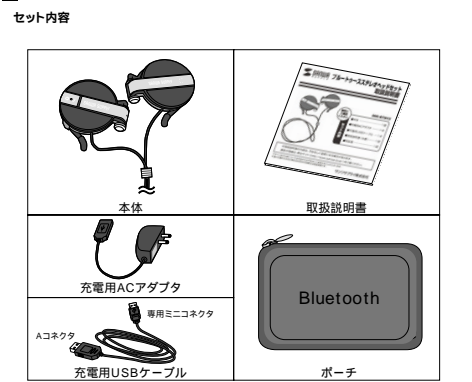
**良好な通信を行うために**

他の機器と見通しの良い場所で通信してください。建物の構造や障害物によっては、通信距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートなどを挟むと、通信不能場合があります。Bluetooth接続においては、無線LANその他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。

IEEE802.11g/bの無線LAN機器と本製品などのBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くで使用すると互いに電波障害が発生し、通信速度が低下したり接続不能になったりする場合があります。この場合は、使用しなくなった機器の電源を切ってください。無線機や放送局の近くで正常に通信できない場合は、使用場所を変更してください。

**本製品のパスキー(PINコード)は 0000 です。**

## 1. お使いになる前に



## 2. 充電方法について

はじめてご使用になるときは、約4時間充電する必要があります。ACアダプタまたはパソコンのUSBポートで充電することができます。

**ACアダプタで充電する**

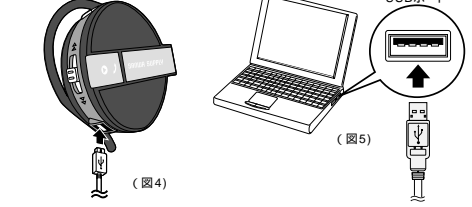
(図1)

(図2)

(図3)

- USBケーブル(専用ミニコネクタ)を本体の充電ポートに接続します。(図1)
- USBケーブル(Aコネクタ)をACアダプタに接続します。(図2)
- ACアダプタをコンセントに差し込みます。表示LEDが赤く点灯します。(図3)
- 赤いLEDが消えたら充電完了です。

## パソコンで充電する



- USBケーブル(専用ミニコネクタ)を本体の充電ポートに接続します。(図4)
- USBケーブル(Aコネクタ)をパソコンのUSBポートに接続します。LEDが赤く点灯します。(図5)
- 赤いLEDが消えたら充電完了です。

付属されているケーブル、アダプタ以外のものを使用しないでください。

**充電の時期**

LEDが赤く点滅し、ピー音が鳴りはじめたら上記の方法で充電してください。

## 3. ボタン操作について

**電源について**

マルチ機能ボタン(MFB)は押し続けている時間によって機能が変わります。

- 電源ON(スタンバイモード): MFBボタンを約3秒間押しするとLEDが青に点滅します。
- ペアリングモード: MFBボタンを約6間長押しするとLEDが青/赤交互に点滅します。途中、青に点滅しますが、青/赤交互に点滅するまで放さず押し続けます。

**注意** スタンバイモードからペアリングモードに切り替えることはできません。一度電源を切って、長押しするとペアリングモードに入ります。

- 電源OFF: MFBボタンを約6秒間押しすると、LEDが5回赤く点滅し、電源が切れます。

状態	表示LED	
	青	赤
電源OFF	OFF	OFF
ペアリングモード	点滅	点滅
ペアリング成功	5回点滅	OFF
スタンバイモード	2秒毎に点滅	OFF
通話中(接続中)	2秒毎に点滅	OFF
音楽再生中(接続中)	1秒毎に点滅	OFF
充電中	状態による	充電完了まで点灯
電池残量少ない	-	点滅

## 4. オーディオやパソコンの音楽をワイヤレスで聴く!(例1)

Bluetooth対応のオーディオアダプタ(当社製MM-BTAD4)と組み合わせると同時に他の機器とA2DP(オーディオプロファイル)で、接続(使用)することはできません。



- ヘッドセットをペアリングモードにするために、LEDが青/赤交互に点滅するまでMFBボタンを長押し(約6秒間)します。
- オーディオアダプタをペアリングモードにするために、LEDが青/赤交互に点滅するまでPAPボタンを長押し(約6秒間)します。
- 数秒後ペアリングが成功するとLEDが周期的に青に点滅します。ペアリングが失敗したら約1分でスタンバイモードに入ります。一度電源を切って、再度ペアリングを行ってください。

**これで設定完了です**



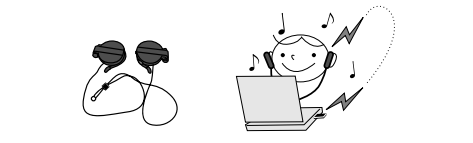
- オーディオアダプタをオーディオやパソコンのイヤホンジャックに接続して音楽を再生します。パソコンの場合は、ヘッドホンジャックから音が再生される状態にしてください。USBスピーカーを接続している場合は、音の再生デバイスパソコン内蔵スピーカーに変更してください。



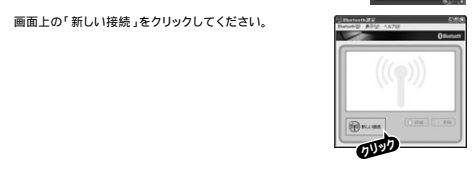
- 電源を切った後、再び使用する場合は、再度ペアリングの必要はありません。両方の機器の電源を入れるだけで使用できます。しばらく経っても使用できない場合は、PAPボタンを1回押ししてください。それでも使用できない場合は、再度ペアリングを行ってください。

## 5-1. パソコンの音楽やIP電話をワイヤレスで楽しむ!(例2)

Bluetooth USBアダプタ(当社製MM-BTUD5)と組み合わせると同時に他の機器と同じプロファイルで、接続(使用)することはできません。



タスクトレイのBluetoothアイコンを右クリックし、「Bluetooth設定」を選択します。Bluetooth機器を初めて登録する場合は、に進んでください。



5. パソコンの音楽やIP電話をワイヤレスで楽しむ! (例2)

ヘッドセットのMFBボタンを約6秒間長押しし、登録する機器を探検可能な状態にします(LEDが青/赤交互に点滅)。

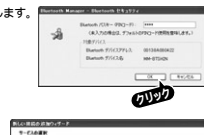
「カスタムモード」にチェックを入れ、「次へ」をクリックしてください。



機器が検出されたら、「次へ」をクリックしてください。



パスワード「0000」を入力し、「OK」をクリックします。



音楽を楽しむ

A2DP(オーディオプロフィール)を登録します。「オーディオバンク」を選択して「次へ」をクリックします。



IP電話を楽しむ

HSP(ヘッドセットプロファイル)を登録します。

「ヘッドセット」を選択して、「次へ」をクリックします。



両方とも登録する場合は、- の手順を再度行ってください。

注意: A/Bは同時に接続(使用)することはできません。

ヘッドセットから音が聞こえたら、MFBボタンを押します。



「次へ」をクリックしてください。



「完了」をクリックし、登録終了です。



- の登録作業は初回のみ必要です。

設定画面にステレオヘッドホンまたはヘッドセットが登録されました。



ワイヤレスで音楽やIP電話を楽しむには、アイコンをダブルクリックしてください。詳しくは「5-2.接続するには」を参照してください。

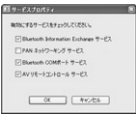
Windows MediaPlayerで音楽を再生する場合

Windows MediaPlayerで音楽を再生する場合、3WAYボタンで一時的停止やスキップなどの操作が可能です。

iTunes等では、3WAYボタンでの操作はできません。



タスクトレイのBluetoothアイコンを右クリックし、「Bluetooth設定」を選択します。



「AVリモートコントロールサービス」にチェックを入れ、「OK」をクリックします。

iTunes等で音楽を再生する場合はチェックを外してください。誤作動の原因となります。

操作方法

- MediaPlayerを開く 3WAY
一時再生 3WAY
一時停止 3WAY
次の曲へ 3WAY
前の曲へ 3WAY



5-2. 接続するには

使用する機器のアイコンをダブルクリックし、右図のようになれば使用可能です。



機器(プロフィール)により同時接続できない場合は、干涉する機器を「切断」してからの目的の機器を接続してください。詳しくは「5-3.切断するには」を参照してください。音楽を聴くときは、A2DP(オーディオプロフィール)で接続する必要があります。IP電話を楽しむ場合は、HSP(ヘッドセットプロフィール)で接続する必要があります。HSP(ヘッドセットプロフィール)で接続中に、MFBボタンを押さないと、接続が切断されます。もう一度MFBボタンを押すと再接続されます。アプリケーションが起動中の場合は、一度アプリケーションを終了してから、再接続してください。名前やアイコンを変更するには、アイコンを右クリックして各項目を選んでください。

注意: 使用後は必ず電源をOFFしてください。または、接続を切断してください。通話/再生をしていない場合でも、接続中であれば同様に電力を消費します。

5-3. 切断するには

アイコンを右クリックし、「切断」を選択してください。



5-4. 電源を切った後、再び使用するには

A2DP(オーディオプロフィール)で接続していた場合電源を入れるだけで使用できます。

HSP(ヘッドセットプロフィール)で接続していた場合— A2DPは未登録電源を入れて、MFBボタンを1回押ししてください。

HSP(ヘッドセットプロフィール)で接続していた場合— A2DPも登録済電源を入れると、A2DPが優先されますので、A2DPを切断し、HSPを接続してください。

6. Bluetooth機能搭載の携帯電話と接続する!



ヘッドセットのMFBボタンを約6秒間長押しし、ペアリングモード(青/赤のLEDが交互に点滅)にします。ご使用の携帯電話の取扱説明書をご参照の上ペアリング作業を行い、登録/接続をしてください。通信の場合は「ハンズフリー(HFP)」,音楽再生の場合は「オーディオ(A2DP)」で接続してください。機種によっては同時に接続できないものがあります。

携帯電話に着信があると、ヘッドセットから呼び音が鳴ります。

Table with 4 columns: Action (e.g., 電話に出る, 電話をかける), Device Status (電話, ヘッドセット), Headset Status (着信時, 通話中), and Action (MFBボタンを押す, 電話でダイヤルボタンを押す). It details the steps for making and answering calls using the headset.

機種により、上記の一部の機能を使えない場合もあります。携帯電話からの操作については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

例)JNTT DoCoMo P902iの場合

ヘッドセットのMFBボタンを約6秒間長押しし、ペアリングモード(青/赤のLEDが交互に点滅)にします。P902iの「メニュー」ボタンを一回押します。「生活ツール」を選択します。「Bluetooth」を選択します。「接続機器リスト」を選択します。「サーチ」を選択します。「MM-BTSH2N」を選択します。「YES」を選択します。P902iの暗証番号(初期設定は「0000」)を入力します。「確定」を押します。Bluetoothのパスワード「0000」を入力します。「決定」を押します。Bluetoothは完了(青のLEDが点滅)です。通話の場合は「ハンズフリー(HFP)」を選択し、「接続」を押します。続いて「オーディオ(音楽再生)」を接続する場合は、同様に「接続」を押します。これで「ハンズフリー(HFP)」と「オーディオ(A2DP)」の接続が完了です。

7. 各機器との接続について

一度ペアリングすると、機器の電源をOFFにしても設定が残ります。再度電源をONすると、そのまま使用できます。接続が切断されている場合は、接続またはペアリングを行ってください。

注意: 同時に他の機器と同じプロフィールで接続(使用)することはできません。また、HSP(ヘッドセットプロフィール)とHFP(ハンズフリープロフィール)も同時に接続(使用)することはできません。

8. よくある質問

- Q. ヘッドホンの音が聞こえません。また、音声入力ができません。(パソコンの場合)
A. 1.「スタート」メニューから「コントロールパネル」>「サウンド」>「サウンドデバイス」を開きます。
2.「オーディオ」タブを選択し、「音の再生」>「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。
3.「音声」タブを選択し、「音の再生」>「録音」のデバイスがBluetoothデバイスになっていることを確認してください。
Q. 音楽がモノラルのように低い音質で再生される。
A. HSPを介して接続されている可能性があります。お使いのBluetooth機器がA2DPをサポートしていて、A2DPを介して接続されているか確認してください。
Q. ヘッドセットとデバイスの通信距離は?
A. 10mまでです。間にコンクリート壁などの障害物があると、通信距離は短くなります。
Q. 他のBluetooth使用者によって通信内容を傍受されませんか?
A. いいえ。ペアリングによって通信が保護されます。
Q. 使うたびにペアリング作業をする必要がありますか?
A. いいえ。基本的には一回だけです。電源を切っても、ペアリングの設定は残りますが、機器によっては再度ペアリングを行ってください。
Q. 電話とヘッドセットの接続が途切れたり、再接続の必要がありますか?
A. 電話の機種によって異なります。自動的に再接続する機種と、そうでない機種があります。
Q. ヘッドセットから雑音が入る。
A. 通信範囲を超えると、雑音が入ります。

仕様

Specifications table for the headset including Bluetooth version (Ver1.2), frequency range (2.402GHz-2.480GHz), transmission method (FHSS), range (approx. 10m), class (Class2), battery type (rechargeable NiMH), and supported profiles (HSP, HFP, A2DP, AVRCP).

実際の通信距離や使用時間は使用環境などによって異なります。使用後は必ず電源をOFFしてください。また、接続を切断しないでください。通話/再生をしていない場合でも、接続中であれば同様に電力を消費します。スタンバイとは、電源がONの状態での、他の機器と接続されていない状態のことです。

保証規定

- 1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間外で故障が起きた場合は、当社指定の方法で修理を行いますので、保証書を持ってご購入の店舗先までお持ちください。
2.次のような場合は保証期間外のもの取扱われます。
保証書をご提示いただけない場合、あるいは文字や書き間違えられた場合。
故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
お客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
天災地災、ならびに火災や洪水等の外的要因による故障及び損傷。
お客様が任意による改造または修理を行ったことまたは修理された場合は、保証期間内の修理もお受けいたしかねます。
3.お客様が任意による改造または修理を行った場合は、保証期間内の修理もお受けいたしかねます。
4.本製品の故障、破損またはその使用によって生じた直接・間接の損害については当社はその責を負いません。
5.修理ご依頼を断念、またはご持参される商品の使用費は、お客様のご負担となります。
6.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
7.保証書は日本国内においてのみ有効です。

Support information section featuring a screenshot of the support website with the URL http://www.sanwa.co.jp/ and various support options like Q&A, manuals, and contact information.

サンワサプライ株式会社

Contact information for Sanwa Supply Co., Ltd. including addresses in Osaka, Tokyo, Nagano, and Kanagawa, along with phone and fax numbers for various regional offices.